



伝統技術を守り、後世に伝える仏師姉弟

白石 晏雅さん・白石 覚動さん（中央）

今月は、仏像の製作を行う仏師として、仏像彫刻の魅力や楽しさを広めている、白石晏雅さん・覚動さん姉弟を紹介いたします。

「デザイン関係の会社に勤めていた晏雅さんは、大工の人たちと頻りに仕事をすると、熟練した技で人々を魅了する職人に憧れを抱くようになったそうです。『私も『ものづくり』の世界で生きていきたい』そんな思いから会社を退職。早速、伝統的に木彫刻が盛んな富山県井波町（現・南砺市）に足を運び、欄間や獅子頭などさまざまな作品を見ました。そこで運命的な出会いが、ひときわ存在感を解き放つ仏像を目の当たりにしたのです。『この作品の製作者の下で、専門的に学びたい』平成7年に弟子入りを認められた晏雅さんは、こうして仏師としての第一歩を踏み出していきました。



その3年後、覚動さんも姉と共に修業することになった。きっかけは、やはりあの洗練された仏像でした。『姉のところに遊びに行ったのですが、あの仏像を見たときに、自身の仏師として生き

ている姿を思い描くことができませんでした。それまで、精密機械を作る父の会社をサポートしようと思っていました。父を説得するのにとても苦労しましたよ』と当時を振り返ります。

晏雅さんは7年間、覚動さんは5年間、仏師として必要な技術や精神を磨き、平成15年に地元井波で、工房「仏像彫刻しゃかりき堂」をオープンしました。また、同年に「第1回白石姉弟展」も開催。驚いた表情を浮かべたり、感動で涙を流したりする来場者の姿を見て、うれしいと同時に「自分たちはここから始めるんだ」と胸が熱くなったそうです。個展の開催をきっかけに、寺院や個人などさまざまな方から、仏像の製作依頼を受けるようになった晏雅さんと覚動さん。二人は「依頼者の気持ちよくみ取り、自然に手を合わせてもらえる仏像を作っていきたい」と作品づくりに掛ける思いを語ります。

平成22年には「仏像を彫る楽しさを広めていきたい」という思いから「仏像彫刻教室かんのん塾」を開講し、現在では、約60人が学んでいます。晏雅さんは「キラキラした表情で彫っている生徒さんの姿を見ると、やりがいを感じますね」と笑顔を見せてくれました。二人は目標を尋ねると「永く大切に残したくなる心に響く作品を作っていきたい」と語ります。これからも二人は、いにしえより受け継がれた伝統技術を守り伝えつつ、木に新たな命を吹き込むことで多くの人を魅了する仏師として輝いていくこと目指す。

平成25年7月生まれのお子さんを募集します

○5月1日（木）～30日（金）に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当（内線318）
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、6月3日（火）午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

はじめまして

★★★ 平成25年5月生まれのおともだち ★★★

 横須賀 茜音ちゃん （門井町） 平成25年5月12日生まれ 父・俊介さん 母・結和さん 「奏音と仲良く元気で育つ♡」	 柴崎 もも奈ちゃん （長野） 平成25年5月14日生まれ 父・悠介さん 母・茉莉さん 「元気にすくすく育ってね♡」	 高山 杏ちゃん （馬見塚） 平成25年5月28日生まれ 父・穂さん 母・祥子さん 「たくさん食べて大きくなつてね！」
 増田 汰郎ちゃん （持田） 平成25年5月22日生まれ 父・健二さん 母・恰子さん 「まっすぐ前を向いて進め、汰郎！」	 長谷川 知香ちゃん （谷郷） 平成25年5月2日生まれ 父・真司さん 母・佳代さん 「スマイル知香りん♡」	 征矢 カちゃん （渡柳） 平成25年5月14日生まれ 父・洋祐さん 母・幸子さん 「毎日家の中を探検中！」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

湯本内装株式会社

すてきな空間を提供

暮らしの中で最も大切な住空間を、より快適に提供している湯本内装株式会社。同社は、行田市を中心に関東全域で事業を展開しています。設立当初は、一般住宅の内装工事を中心に事業を行っていましたが、現在では老人ホームをはじめ、病院、銀行、デパートなどにも事業の対象を拡大し、年間31億円を売り上げるまでに成長。そして、よりよい製品やサービスを提供し、お客さまに満足してもらうための仕組みを作成・管理する「ISO9001」も取得しています。

同社では、顧客のニーズを的確に把握し、それ以上の価値を加えたサービスを提供することを心掛けています。代表取締役の湯本茂作さんは、「お客さまがどんな内装をイメージしているのかを把握するだけでなく、例えばドアの開閉方向など、利用者の日常生活もイメージして施工していますよ」と語ります。見落としがちな小さなところにも気を配ることが、現在の躍進につながっているのです。



会社プロフィール

代表取締役 **湯本 茂作**

【事業内容】 内装工事一式請負業

暮らしの中で最も大切な住空間にも力を入れています。内装工事に携わる者にとって必要な1級・2級技能士の資格はもとより、建築施工管理技師、床診断士などの資格も積極的に社員に取得させています。接遇にも力を入れており、お客さまからは「技術が素晴らしいだけでなく、礼儀正しい職人が多い」と高い評価を受けています。

「ただ目標を持つだけではなく、まずは行動を起こすことが大切です」と湯本さんは仕事に対する心構えを語ります。仕事はもちろん、日常の中でもひらめいたことがあれば、積極的に事業に取り入れているそうです。「感謝の心で夢に挑戦」という経営理念に基づいた行動力で、同社はこれからもお客さまに喜ばれる空間を創造していくこと目指す。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

俳句	忍 丸山 連子	城西 新井 俊彦
引鶴の一声高く雲に入る	南河原 若林 水翁	長野 野中せき子
影引きて鯉の反転水温む	荒木 森田 静	父の日のネクタイ淡き草木染め
ふんわりと肩にひとひら夕桜	向町 小沼 重蔵	門井町 嶋田 茂
亡母踏みし竹に重ねる足の裏	荒木 藤田 明枝	骨波田や古刹の藤の花盛り
脳トレを艶歌に託し春夕べ	南河原 今村 文女	荒木 蛭間しげ子
面取れば女装のダンサー花舞台	桜町 吉岡 守子	亡き夫とあうんの呼吸おぼる月
豆まきが出来ましたよとハガキ書く	城南 関口 操	咲きみちて桜堤の名を得たる
白壁に小さな命すみれ草	渡柳 川田 清	窓開く春は園児の声が跳ね
ぼんぼりや川面に浮かぶ花筏	下須戸 澤田 郁	容赦なく芽吹き枝に吹く嵐
暖かや健やか便り岩田帯		廃屋に影を重ねて梅の花
		持田 丸山 麟一
		草も木も忙しくなる四月かな
		清水町 菅谷 光子
		ふくじゅそう谷間の日向ひとりじめ
		(三沢 一水 監修)